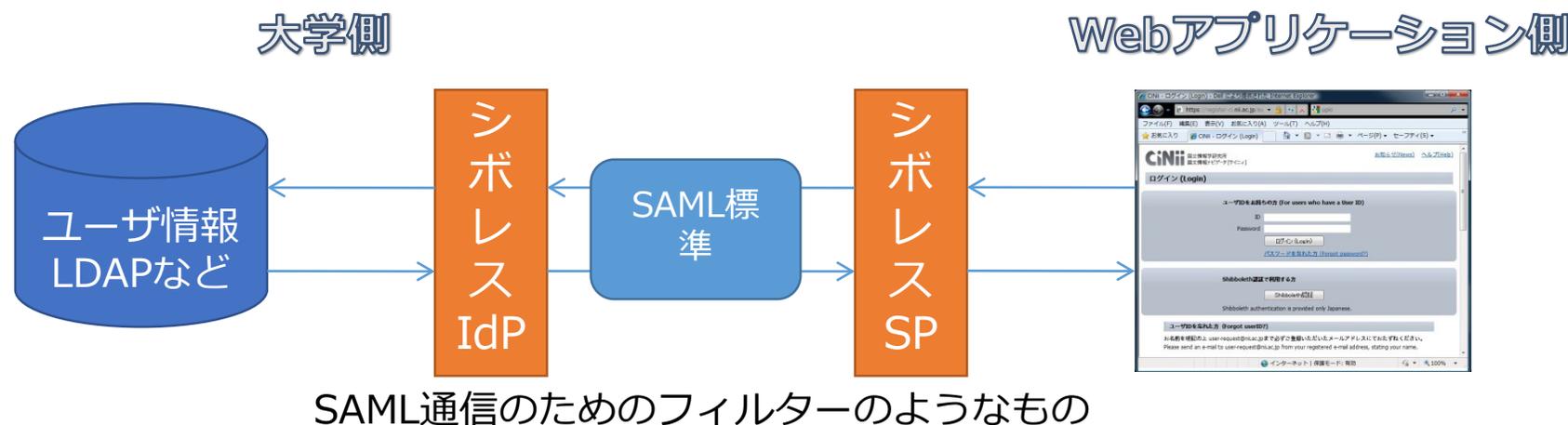


学認について

2023.5.30 NII学術情報基盤オープンフォーラム2023
国立情報学研究所

学認の基礎

- WebアプリケーションへのSingle Sign-On(SSO)技術を、組織を越えて活用する分散型認証基盤
 - Single Sign-On：一度の認証で複数のサービスを再認証なく利用できる技術
 - 実現方法はいくつかあるが、フェデレーション内で技術の統一が必要



- 詳細は2019年NIIオープンフォーラム「はじめての学認」をご参照ください
 - https://www.nii.ac.jp/openforum/2019/day1_4.html
 - <https://youtu.be/pMCw7oJablo>

参考：「はじめての学認」の章立ておよび内容

- 学認について
 - シングルサインオン・フェデレーションとは
 - フェデレーションの役割
 - フェデレーション参加機関の役割
 - 学認とは
 - 学認に参加するメリット
 - 学認への参加手順
- 「学認」に必要な技術
 - フェデレーションに必要なサーバ
 - メタデータとは
 - Shibbolethについて
 - IdPの調達と構築
 - 属性について
 - SPの学認連携／学内連携
- 「学認」参加後の運用について
 - 証明書の更新、責任者・担当者引継ぎなど

学認に参加するとなにができるの／運用の流れなど

- その1 : GakuNin道しるべ (パンフレット)
 - <https://www.gakunin.jp/document/98>
 - 学認参加後 (もしくはIdP/SP構築後) の指針となるべく用意したドキュメントです
 - 内容は多岐にわたります
- その2 : 学認参加後のIdP運用道しるべ (スライド)
 - <https://www.gakunin.jp/document/682>
 - 「GakuNin道しるべ」からIdP関係のものを厳選しご紹介しています
 - 章立てから抜粋：
 - 学認に参加すると何ができるの？
 - 各SPに対して属性送付設定を行わなければならない
 - SPの利用契約について
 - 利用者の流れ
 - など

お知らせ：情報処理技術セミナー

NIIの教育研修事業として例年2日間コースでShibboleth等の実習を行っております

今年度も昨年度に引き続きオンラインで実施します

- 教育・研究機関等のシステム運用担当の教職員を対象としています

- **基礎編**

- 7月20~21日

- **申込締切日： * * * * * 6月2日（金） * * * * ***

- テーマ：Shibboleth環境の構築

- 詳細は下記にて：

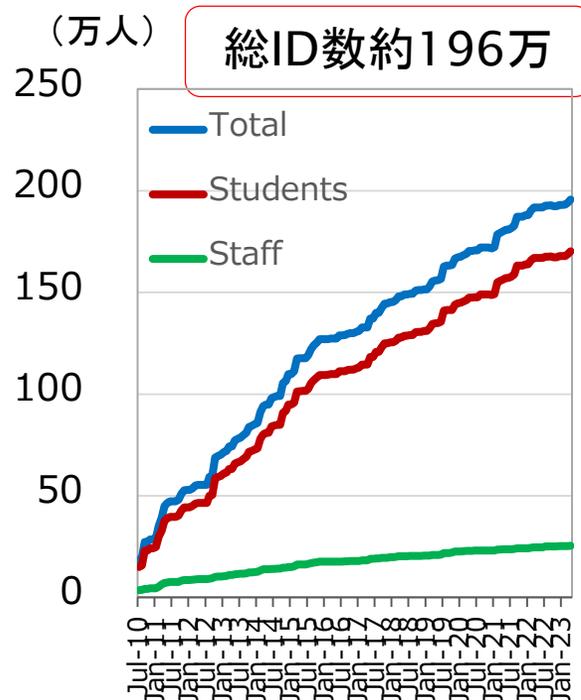
<https://contents.nii.ac.jp/hrd/joho-karuizawa/2023>

IdP/SPの推移 (2023年4月末現在)

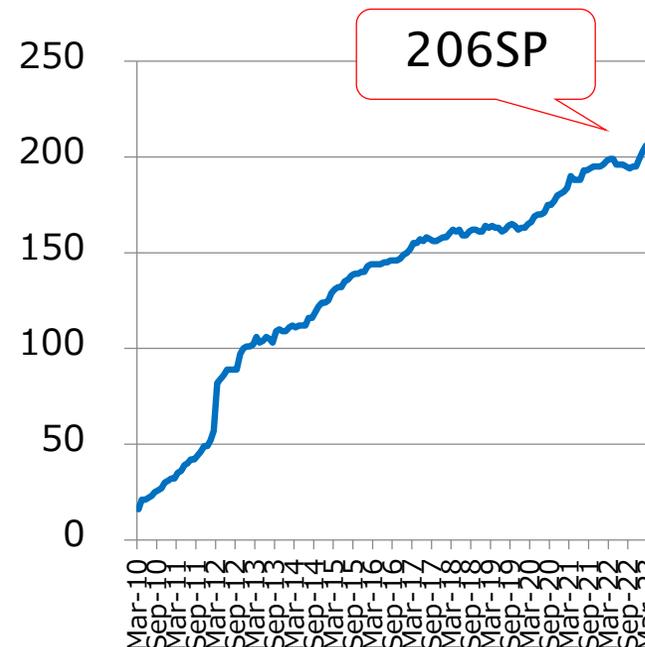
IdP機関数



IdPユーザ数



SP数



	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	共同利用機関	その他	合計
学認参加数	81	31	107	1	51	4	14	289
カバー率	94%	34%	18%	0%	89%			
総機関数	86	91	604	333	57			

学認関連状況報告

- 学認実施要領の改定
 - お知らせ：<https://www.gakunin.jp/ml-archives/upki-fed/msg01540.html>
 - 大学等の上位の学校法人等としての参加を許容
 - 特にSP管理者の方々におかれましては、今後学校法人等の運用するIdPが参加しうること、メタデータに記載されるスコープが複数になりうる、属性o/jaoに属性値が複数送信されうることをご承知おきください。
 - 運用責任者について職位の要件を外し職責を要件に
- Shibbolethの開発状況（開発元からの情報）
 - IdP
 - バージョン5の準備が進められている（今年中にリリースされると思われる）
 - SP
 - メンテナンス持続性のため、次期バージョンはJavaで再実装する方向でリデザインが進行している（リリース目処は今年or来年？）
 - リリースまでは現行バージョンがメンテナンスされる

学認関連状況報告（続き）

- eduGAIN
 - 【重要】 eduGAINメタデータ署名鍵の更新が行われました（昨年再掲）
 - **設定変更を行っていない場合、2023年6月以降に影響が現れます！**
 - eduGAIN参加IdP/SPは要設定変更
 - 2022年5月に情報交換MLでアナウンス済み
<https://www.gakunin.jp/ml-archives/upki-fed/msg01481.html>
 - 2023年5月末で旧メタデータの公開を停止することが発表された
 - eduGAINに関する情報 > eduGAINに参加しているか否かの確認方法
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/CZ7yAQ>
 - すでにeduGAINに参加しているShibboleth IdP/SP向け移行手順
 - eduGAINメタデータ署名用証明書移行手順(Shibboleth IdP向け):
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/zhFIBQ>
 - eduGAINメタデータ署名用証明書移行手順(Shibboleth SP向け):
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/1xFIBQ>
- 学認からの参加数(2023年4月末現在)
 - IdP:81
 - SP : 5
- 学認にてeduGAIN IdP/SP含めた効率的なメタデータ提供方式(MDQ)を提供する方針

学認関連サービス状況報告

- NII FileSenderサービス改善改修
 - ダウンロード画面での送信者メールアドレスの非表示オプション（ベータ版）
 - 説明: <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/IZ1iBg>
- OpenIdP
 - 年度末に向けてOrthrosへの移行を計画しております。詳細は学認情報交換ML等でご案内予定です。
- meatwiki
 - 同じく別サービスへの移行を計画しております。詳細が決まりましたら学認情報交換ML等でご案内予定です。

作業部会関連報告

- 運用作業部会
 - 次世代認証連携に関して中規模実験の推進
 - 大学等の法人参加に付随するルール作り
- トラスト作業部会
 - 昨年度学認参加IdP運用状況調査Web化して実施
 - [2022年度 学認参加IdP運用状況調査](https://www.gakunin.jp/gakunin_survey_2022)
https://www.gakunin.jp/gakunin_survey_2022
- 図書館系サービス作業部会
 - eduGAIN経由で利用できる電子ジャーナル等の接続方法調査のドキュメント提供
 - 図書館職員向け eduGAINに関する情報
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/CJBiBg>
- 次世代認証連携検討作業部会
 - 次世代の認証基盤に求められる認証レベルや認証プロセスの強度や手続き及び産学との連携利用者登録等の課題について議論を進めている
 - **本日14:30から認証トラック3にて詳細を説明します**

学認に関するお問合せは . . .

国立情報学研究所 学術基盤推進部

学術基盤課 認証基盤・クラウド推進チーム (認証担当)

Web: <https://www.gakunin.jp/contact>

もしくは

mail: gakunin-office@nii.ac.jp

まで、お気軽にどうぞ。

